

統合開発プラットフォーム

システム開発の効率化と 品質向上を支援する日立の 統合開発プラットフォーム



市場ニーズの多様化とグローバル化が進むなか、多くの企業ではシステム開発のスピードやコストがビジネス成否の鍵を握る時代となっています。そこで日立は、50年以上にわたる大規模システム開発プロジェクトで培ったアプリケーション開発、プロジェクト管理のノウハウに、最新のデジタル技術を組み合わせた「Justware統合開発プラットフォーム」を提供。プロジェクト全体の効率化と作業負荷の軽減により、お客さまのイノベーションと働き方改革の推進に貢献していきます。

アプリケーション開発のさらなる 効率化が課題に

IoT^{*1}やAI^{*2}など、デジタル技術の進展にともない、さらなる生産性の向上や新たなビジネス価値の創出など、ITシステムに求められる役割と期待が拡大しています。

しかしその一方で、システム開発の現場ではシステムの大規模化・複雑化により、進捗管理や品質管理といったプロジェクトの管理、運営が以前にも増して難しくなっています。管理者や開発者の作業負荷も高くなっていますが、市場ニーズをキャッチアップしていくためには、高い品質を維持しながらもリリースサイク

ルを短縮していかなければなりません。

競争力の源泉となる新たな業務システムやサービスをいち早く市場に投入することは、先行利益の獲得や企業価値を高める意味でも、ますます重要な要件となっており、アプリケーション開発のさらなる効率化を実現する開発基盤のニーズも高まっています。

そこで日立は、50年以上にわたって培ってきた大規模システムのアプリケーション開発やプロジェクト管理のノウハウに、AIやRPA^{*3}など高度なデジタル技術を組み合わせ、システム開発の効率化と品質向上を支援する「Justware統合開発プラットフォーム」を新たに整備。従来の生産性向上施策を進化させると

ともに、プロジェクト管理・推進の効率化により、プロジェクト全体の最適化を実現していきます。

- ※1 Internet of Things
- ※2 Artificial Intelligence
- ※3 Robotic Process Automation

プロジェクト管理全体の 高度化と働き方改革を支援

Justware統合開発プラットフォームは、システム開発に必要となるツールやフレームワーク、開発方法論を統合・標準化したもので、プロジェクト管理者や開発者を支援するためのソリューション群です。

銀行の勘定系システムや証券取引所の情報配信システム、保険の契約管理シ

システム、小売業の販売計画システム、自治体の申請業務システムなど、アプリケーション開発において豊富な実績を持つ「標準開発ツール」と「フレームワーク」に、今回新たに開発作業を効率化する「開発者支援」と、プロジェクトの管理作業を効率化する「プロジェクト管理支援」を追加。プロジェクト全体を効率化する開発環境として整備しました。

■標準開発ツール

OSS^{※4}を中心とした開発ツールを標準化して提供します。IDE^{※5}やバグ管理、課題管理、テスト支援ツールなど、アプリケーション開発を効率化するツール群で開発を支援します。

※4 Open Source Software

※5 Integrated Development Environment

■フレームワーク

オープンプラットフォーム環境におけるアプリケーション開発を支援するHitachi Application Framework「Justware」を提供。JavaTM標準仕様であるJava EETMベースまたはOSSベース(Spring+MyBatis)から選択が可能です。エンタープライズアプリケーションに必要な信頼性・拡張性を確保しつつ開発の容易性を高めるランタイムフレームワーク、汎用性の高い機能^{はんよう}を中心に整備した標準ライブラリを提供します。また、設計情報をリポジトリで一元管理することで、データ項目の統制、トレーサビリティの確保、ソースコードの自動生成を



Justware統合開発プラットフォームの全体像

行い、開発の統制と開発スピードの向上を実現する開発フレームワークを提供します。

■開発者支援

チャットボットをベースとした基盤を用意し、対話型インターフェースで各種作業の自動化を可能とします。あらかじめFAQを登録しておくことでチャットから自然言語で質疑応答ができるQ&A機能や文書検索(全文検索)機能、メッセージの自動翻訳機能を備えています。また、設計書間の整合性チェックによる設計品質の向上、トレーサビリティの確保など、開発者の作業を支援するとともに、開発者間のスムーズかつ円滑なコミュニケーション環境を実現します。

■プロジェクト管理支援

プロジェクト全体の進捗や品質の状況を自動収集し、ダッシュボード上でチーム単位や開発機能単位などでリアルタイムに状況を確認できます。また、ソースコードを解析して規則違反や、可読性などをもとにスコアリングし、効率的なソースコードレビューを支援します。

Justware統合開発プラットフォームの特長

■プロジェクトの管理作業、開発の付帯作業負荷を軽減

進捗や品質などのプロジェクト情報を正確に把握、共有することにより、情報収集や集計などの管理作業負荷を軽減できます。また、チャットボット基盤はコミュニケーションの活性化と自動化を促進し、

開発者の付帯作業負担を軽減できます。

■大規模プロジェクトを統制

データ項目辞書や設計情報の一元管理に加え、ドキュメントの整合性チェックやレビュー支援といった機能の提供により、大規模プロジェクトにおいても品質とガバナンス確保の最適化を容易に図ることができます。

■各ツールは単体でも提供可能

Justware統合開発プラットフォームで提供する各ツールは、単体でも提供が可能です。また各ツールは他のOSSや製品に差し替えることも可能です。お客さまのニ-

ズに合わせて適切な環境を提供します。

■充実のサポート体制

エンタープライズアプリケーション開発およびJustwareに精通したメンバーによるコンサルティングサポートサービスを提供します。開発環境構築時の課題の解決、開発ツールの選定、手順書の作成、インストール、セットアップなどをトータルに支援します。

品質を維持しつつ、 リリースサイクルを短縮

Justware統合開発プラットフォームを

活用することで、エンタープライズグレードの品質を維持しつつ、リリースサイクルの短縮を支援します。また、プロジェクトの管理・運営に必要な進捗管理や品質管理などの作業を自動化することで、管理者は管理作業に、開発者は開発作業に専念できる環境を整備して本業回帰を促し、プロジェクト全体の効率化と作業負担の軽減により、働き方改革の推進にも貢献します。

日立はこの環境を、自社で開発環境を保有するお客さま企業向けに提供する一方、日立がお客さまから受託するアプリケーション開発にも適用していきます。

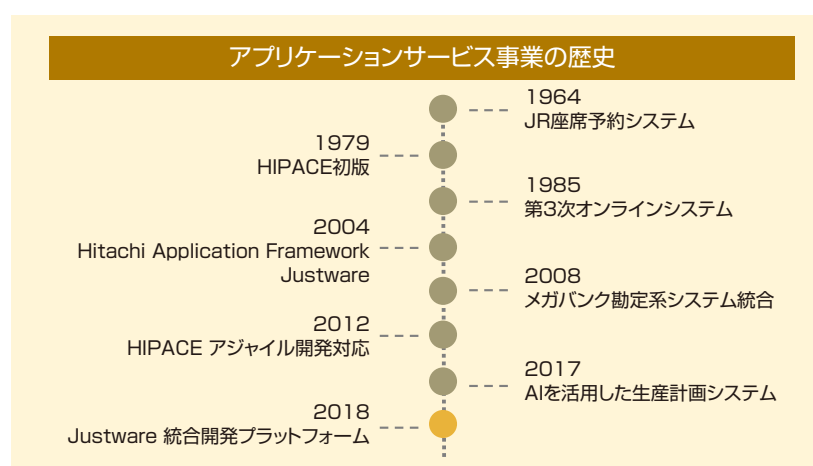
実績ある日立のアプリケーションサービス事業

日立のアプリケーションサービス事業は50年以上の歴史を誇り、さまざまな業種のお客さまの業務アプリケーションを受託開発してきました。例えば、JR座席予約システム、証券取引所売買システム、メガバンク勘定系システムなど、大規模ミッションクリティカルシステムで数多くの実績があります。近年はITトレンドの進化にも追随し、お客さまニーズに対応したアプリケーションサービスも開発しています。

また、システムのライフサイクルを体系化した日立独自のシステム開発方法論「HIPACE」により、アプリケーション開発の効率性とガバナンスを確保し、2017年

には大規模アジャイル開発の方法論も整備。これらの実績とノウハウを活かし、日立自身が日々のシステム開発に活用し

ながら、お客さまにも提供するのがJustware統合開発プラットフォームです。



お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 アプリケーションサービス事業部
<http://www.hitachi.co.jp/appsdiv/>